

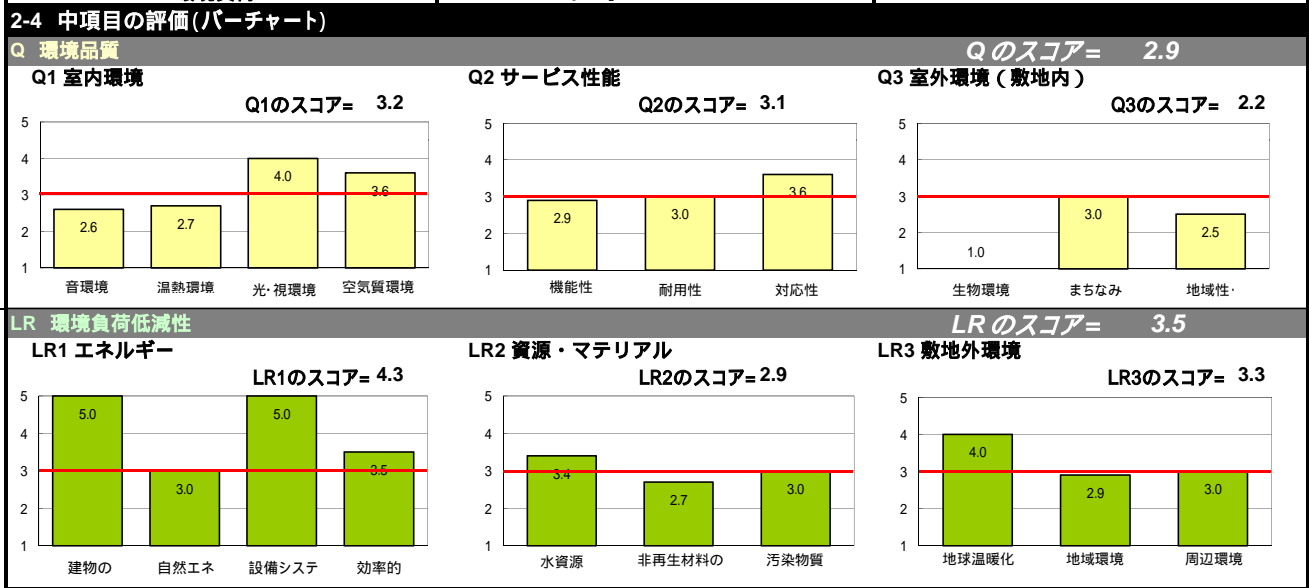
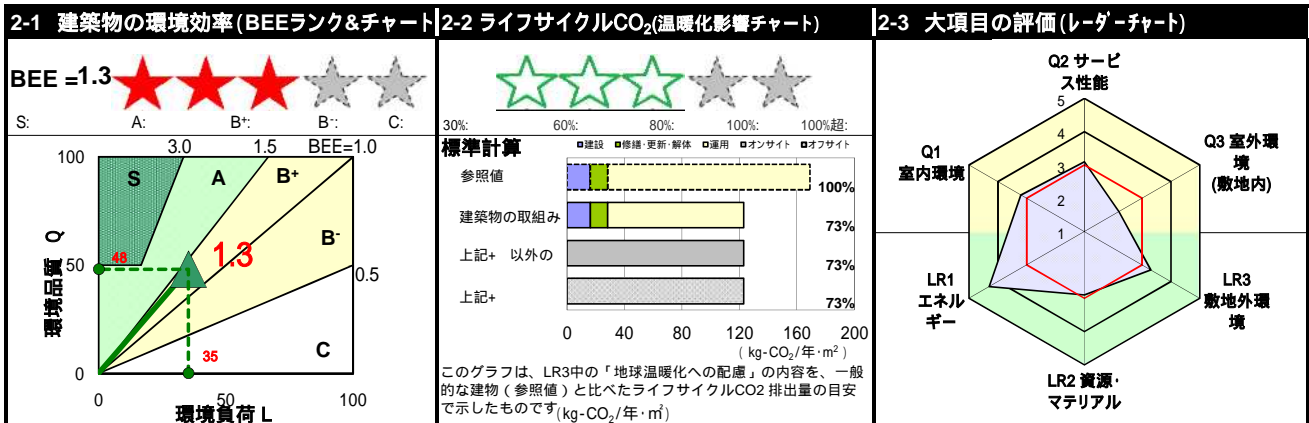
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コピオ相模原川尻(B棟)新築工事	階数	地上1階建
建設地	相模原市緑区川尻大島界土地区画整理事業区域内4街区7-19	構造	S造
用途地域	準工業地域・準防火地域・地区計画区域	平均居住人員	1,000 人
気候区分		年間使用時間	4,015 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2014年4月15日
敷地面積	15,348 m ²	作成者	株式会社 坂川建築設計事務所
建築面積	6,549 m ²	確認日	2014年4月15日
延床面積	6,149 m ²	確認者	株式会社 坂川建築設計事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
省エネルギーのため、様々な配慮を実施している。	0	
Q1 室内環境 各ゾーン単位で冷房・暖房が可能な空調システムを採用している。空気取り入れ口は汚染源のない方に設けられている。かつ、各種排気口と6m以上離れて設置されている内装材は、F を全面的に採用している。	Q2 サービス性能 天井高3.50mで、ゆとりある空間形成を実施。配管材は、汚水管(VP)-B、給水管(SUS)-Cであり、耐用年数の長い管材を採用。電話・光ケーブルにより、通信手段の多様化を図っている。精密機械の地下空間への設置を避けている。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により、良好な景観を形成している。夜間照明を設置し、防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー BPI=0.745、ERR=38%である。集中検針装置を設置している。	LR2 資源・マテリアル 壁・天井下地材にLGSを使用している。自動水栓に加え、節水型便器を採用し、節水に努めている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ =73%である。適切な量の自転車置場・駐車スペース・荷捌き用車両の駐車施設の確保している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される